

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
自治振興活動費補助事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑨ 交付金		200,817
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		67	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			200,817	
該当ページ	60 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	61 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			200,817	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	200,817				200,814	3
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	基金利子: 31,990千円, 協働のまちづくり事業助成金: 3,924千円, 地域振興基金繰入金: 164,900千円				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域住民自ら地域の課題に対し、地域活動の実践を通して地域活性化を図り、住民自治のまちづくりを進めていく住民自治組織の活動を支援する。 交付金による支援を行うことで、各地域において「まちづくりビジョン」達成のための活動を推進し、持続可能なまちづくりにつなげる。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【負担金, 補助及び交付金】 200,817千円 (19住民自治組織) (内訳) ・19住民自治組織交付分 199,322千円 (別添資料: 三次市自治活動支援交付金交付一覧表) ・地域共創プロジェクト事業分 1,495千円</p> <p>●地域共創プロジェクト事業 内容: 市内の小中高生と住民自治組織が連携して地域課題解決に向けた取組に対し支援を行う。 課題の発見から解決まで一連の取組として実施する (一過性の取組は対象外)。 効果: 小中高生が地域と一緒に最後まで取り組むことで、達成感・自己肯定感につながり、郷土愛の醸成が図られる。 支援: 19住民自治組織に対し募集し実施する。 1 地区あたり 300千円~500千円 (上限額) × 3地区程度</p>					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域×教育 交流フェスタ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まちづくり研修会</p> </div> </div>					
有 (一覧表/図面等)						

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)

令和5年度から選択事業の導入など, 交付金制度の見直しを行っている。選択事業の導入により, 事業の見直しや新規事業の取組につながっている地域もあり, 取組内容の充実につながっている。まちづくりにおける課題は共通のものや独自のものもあるが, 課題解決へ向けた研修を重ねる中で地域の中心となってまちづくりを進めていただいている。今後も住民自治組織との意見交換を行い, 制度の充実を図り, 持続可能なまちづくりにつなげていく。

令和7年度 三次市自治活動支援交付金交付一覧表

組 織 名		交 付 額
1	河内まちづくり連合会	9,514,000円
2	三次地区自治会連合会	11,151,000円
3	粟屋町づくり協議会	9,806,000円
4	川地連合自治会	9,869,000円
5	青河自治振興会	9,209,000円
6	十日市自治連合会	15,986,000円
7	酒屋地区自治会連合会	10,009,000円
8	八次地区連合自治会	15,582,000円
9	和田自治連合会	9,717,000円
10	神杉地区自治会連合会	9,674,000円
11	田幸地区町内会連合会	9,635,000円
12	川西自治連合会	9,499,000円
13	君田自治区連合会	8,171,000円
14	布野町まちづくり連合会	9,645,000円
15	(一般社団法人)作木町自治連合会	9,661,000円
16	吉舎町自治振興連合会	10,912,000円
17	三良坂町自治振興区連絡協議会	10,550,000円
18	三和町自治連合会	10,507,000円
19	甲奴町振興協議会連合会	10,225,000円
合 計		199,322,000円

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
集落支援員事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	13,104	
			② 役 務 費	④手数料	2	
			③ 役 務 費	⑧その他保険料	104	
			④			
実施計画No,		64	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			13,210	
該当ページ	60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			13,210	
歳入に関する項目	予算額 (千円) ⑧	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	13,210					13,210
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	希望する住民自治組織に集落支援員を配置し、集落点検や地域での課題解決に向けた話し合いの促進、空き家対策や定住対策などを住民自治組織と連携して取り組んでいる。集落支援員同士の情報交換も活発に行われ、それぞれの地域において主体的に取組まれている。引き続き、住民自治組織と連携し、各住民自治組織が掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた活動を支援していく。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 13,104千円 集落支援員報酬 13名分 ・7,800円×4人×8日×12か月 = 2,995千円 ・7,800円×9人×12日×12か月 = 10,109千円</p> <p>【役務費】 106千円 保険料 8,000円×13名 104千円 保険料振込手数料 2千円</p> <p>※令和6年度現在の集落支援員配置地区 (13地区) (河内, 川地, 和田, 神杉, 田幸, 川西, 君田, 布野, 作木, 吉舎, 三良坂, 三和, 甲奴)</p>					
別添資料	 <p>集落支援員による移住者案内の様子</p>					
無						
(一覧表/図面等)						

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)

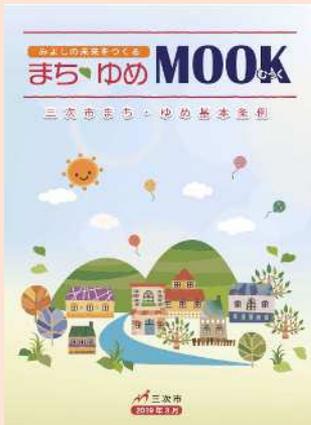
集落支援員は各地区の自治組織との連携・協力により、空き家バンク事業や移住者支援などに取り組むとともに、地域課題でもある賑わいづくり等に努めていただいている。市との情報共有や研修はもとより、全員参加による「集落支援員ネットワーク協議会」を設置し情報共有により自らのスキルアップに努められている。このように、集落支援員事業の活用により、地域の実情に応じた様々な活動が展開されるなど、持続可能なまちづくりにおける役割は大きく、効果も期待できることから継続事業とする。

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
元気な地域創造施設整備支援事業			① 報償費	①委員等報酬	90	
			② 負担金, 補助及び交付金	⑥補助金 (建設単独)	10,000	
			③			
			④			
実施計画No,		66	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			10,090	
該当ページ	60 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	61 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			10,090	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	10,090				10,000	90
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	全市の協働の取組となることを目標に、地域資源を活かしながら、元気な地域づくりなどによる地域活性化をめざし意欲的に取り組む市民が、地域の関係者等と連携した取組を進めるため、事業の創業や展開をする上で必要となる施設整備を支援する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 90千円 評価委員会謝礼 (委員長: 30千円×1人, 委員: 20千円×3人) × 1回</p> <p>【負担金, 補助及び交付金】 10,000千円 補助金 (建設単独) 補助率1/2以内, 上限10,000千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>吉舎は福六! 元気な拠点創造事業 令和4年度 (湖域生活活性協議会・優輝福祉会)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生姜共同選果場整備事業 令和5年度 (三次生姜生産組合)</p> </div> </div>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
地域資源を活かした、元気な地域づくりや新たなチャレンジ, ツナガリ人口の拡大などにつながる公益性の高い事業に取り組むために必要となる施設整備に対し支援を行うことで、地域活性化につながるため継続した。令和5年度からは評価を数値化し評価結果が明確になるよう見直しを行った。事業の活用により賑わいの創出につながっているものや来年度に向けた問い合わせもあることから継続事業とした。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
協働のまちづくり支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	18⑤補助金 (補助費)	6,000	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			6,000	
該当ページ	60 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	61 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			6,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) ⑧	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	6,000					6,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	人口減少・少子高齢化が進む中で、住民自治組織や市民活動団体等が行う地域課題の解決や地域資源を活用した地域住民の主体的な活動を支援することで、持続可能なまちづくりの推進を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【補助金】 6,000千円 協働のまちづくり支援事業 (補助対象団体) (1) 住民自治組織 (2) 市内を主たる活動拠点とした法人格を有する団体 (3) 市民で構成された任意の団体 (補助額及び補助率) (1) 住民自治組織：上限額200万円 (補助率2/3, 2 団体) (2) その他 (上記の(2), (3)の団体：上限額50万円 (補助率2/3, 4 団体) (補助対象事業) 地域住民が連携して自らの地域の課題解決や元気な地域づくりをめざして取り組む次の活動とする。 新たに取り組む活動であり、事業の趣旨に沿った活動とする。</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	  <p>R6年度の補助事業「森のようちえん たねっぼの様子 (コウチエンバ)」</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業により、地域課題の解決に向けた交流人口の拡大や地域資源を活用した魅力向上の取組が行われている。令和6年度は、未就学児の交流の場の創出や地域住民が交流できる公園の整備、休耕田の利活用など、事業目的に沿った地域づくりに寄与している。このように事業の成果が見られることから、継続して事業を実施していく。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域共創まちづくり支援事業			①	報 償 費	②講師謝礼	1,000
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,000	
該当ページ	60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,000					1,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	自治活動支援においては「担い手の育成・確保」という共通の課題解決に向け、「対話」を基本とした取組を進める必要があると考えている。そのため、これまでのやり方を点検するとともに新たな仕組みづくりについて模索しながら、今後のまちづくりに向けた一助とするため外部講師等を招聘し、その取組について研修を進める。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 1,000千円 講師謝礼 (積算 500千円×2人)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">住民自治組織対象の研修会の様子</p>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
旧安田小改修設計業務			① 委託料	④調査測量設計監理等委託料	1,987	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,987	
該当ページ		60 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		61 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,987	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,987			1,900		87
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	老朽化している安田コミュニティセンターの機能を旧安田小学校校舎 1 階へ移転するための改修工事を令和8年度に実施するにあたり、設計業務を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【委託料】 1,987千円 調査測量設計監理等委託料 ○旧安田小改修設計業務 安田コミュニティセンターの機能を校舎 1 階へ移転 校舎 2 階は普通財産として、補助避難所及び災害時の備蓄倉庫等で活用</p> <p>施設概要：旧安田小学校校舎 R C造 2 階建1,270㎡ 昭和63年築 施設整備内容 (令和8年度) ・校舎改修 (消防法対応) ・トイレ改修 (洋式化) ・各室整備 (事務室, 研修室, 多目的スペース, 調理室, 実習室, 小集会室 (和室))</p>					
別添資料	 <p>旧安田小学校</p>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
まち・ゆめ基本条例検証			①	報 償 費	①委員等謝礼	281
			②	需 用 費	①消耗品費	20
			③	役 務 費	①通信運搬費	16
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		317	
該当ページ		62 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		63 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		317	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	317					
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	平成18年度に制定した「三次市まち・ゆめ基本条例」は、第30条に4年を超えない期間ごとに、市民の参加を得て、まちづくりにふさわしいものであるか必要に応じて見直しを行うことと規定されていることから、検証を行う。住民自治組織や関係団体、市民公募などにより委員を募り、令和3年度以来となる検証を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】281千円 まち・ゆめ基本条例検証委員会委員謝礼 (7,800円×9人×4回)</p> <p>【需用費】20千円 (消耗品費) 条例検証に係る消耗品</p> <p>【役務費】16千円 (通信運搬費) 検証委員会に係る郵便代 (110円×9人×4回+320円×9人×4回)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>まち・ゆめハンドブック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まち・ゆめMOOK本</p> </div> </div>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
みよし暮らし推進事業 (移住者支援)			① 報 償 費	⑤その他報償費	2,520	
			② 旅 費	②普通旅費	258	
			③ 役 務 費	③広告料	1,000	
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	1,000	
			⑤ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	21,300	
実施計画No,	63					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			26,078	
該当ページ	64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			594	
	65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			26,672	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	26,672				76	26,596
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	市町村振興協会助成金 協働のまちづくり事業助成金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	「三次を選んでもらう, 定住につなぐ, 三次に住み続けてもらう」総合的な支援の実施。移住コーディネーターによる相談や, 移住・定住相談会における対応, 各種補助金による移住・定住の支援を行う。また, 移住・定住ポータルサイトによる情報発信を行い, 本市への移住・定住の促進を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 2,520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他報償費 (移住コーディネーター報償費 210千円/月×12か月×1人 = 2,520千円) <p>【旅費】 258千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県交流・定住促進協議会 (東京会場 50,000円×1人×1回 = 50千円, 大阪会場 40,000円×1人×1回 = 40千円) ・広島広域都市圏協議会 (東京会場 50,000円×1人×1回 = 50千円) ・ふるさと回帰支援センター (大阪会場 40,000円×2人×1回 = 80千円) ・市町会議出席 (広島市 3,780円×2人×5回【芸備線】 = 38千円) <p>【需用費】 40千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消耗品費 40千円 (移住相談事業事務用品) <p>【役務費】 1,043千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通信運搬費 43千円 ●広告料 (定住情報発信に係る広告料 1,000千円) <p>【委託料】 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信業務委託料 1,000千円 (移住定住ポータルサイト運用保守, YouTube等制作編集, ポータルサイト改修業務) <p>【使用料及び賃借料】 132千円 (システムアプリケーション使用料 132千円)</p> <p>【負担金, 補助及び交付金】 21,679千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●負担金 (補助金) 379千円 (広島県交流・定住促進協議会負担金 76千円, ふるさと回帰支援センター 50千円, 研修会等出席負担金 253千円) ●負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 21,300千円 					
別添資料	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者住宅取得奨励金 150千円×50件 = 7,500千円 ・Uターン者実家等改修補助金 500千円×16件 = 8,000千円 ・空き家バンク改修補助金 500千円×10件 = 5,000千円 ・移住コーディネーター活動補助金 800千円/年×1人 = 800千円 					
無 (一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>移住コーディネーターと集落支援員とが連携を図りながら移住相談に対応する体制が定着しており, 年々移住希望者の相談件数や成約件数が増えている。また, ふるさと回帰支援センターや広島県主催の移住フェアへの積極的な参加や, SNS等での情報発信に努めている。各種補助事業を活用しながら, 三次暮らしの支援を促進し, 継続して移住・定住を促進する。</p>						



定住フェアでの相談の様子 (ふるさと回帰支援センター)

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
みよしのよしみファンクラブ事業			①	報 償 費	⑤その他報償費	138
			②	旅 費	②普通旅費	205
			③	役 務 費	①通信運搬費	110
			④	委 託 料	①業務委託料 (物件費)	430
			⑤	使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	146
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,029	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		95	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,124	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,124					
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市を応援する内と外の人が繋がる仕組みを構築し、まちづくりや地域の活性化につなげ、三次市の関係人口を拡充する取組。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 138千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他報償費 <ul style="list-style-type: none"> ・推し活選考に係る謝礼 6,111円×5人 = 31千円 ・交流会 50千円×1人×1回, 20千円×1人×1回 ・体験イベント 6,111円×6人 = 37千円 <p>【旅費】 205千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●普通旅費 <ul style="list-style-type: none"> 首都圏等で行う交流会に係る旅費 <ul style="list-style-type: none"> ・東京会場 (50,000円×2人×2回 = 200千円) ・広島会場 1,100円×4人×1回 = 4,400円 <p>【需用費】 95千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消耗品費 20千円 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ用厚紙等 ●印刷製本費 75千円 <ul style="list-style-type: none"> ・会員ブック増刷 <p>【役務費】 110千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通信運搬費 110円×1,000人×1回 = 110千円 <ul style="list-style-type: none"> ・会員向けの会報発送料 (年1回発送予定) <p>【委託料】 430千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務委託料 (物件費) <ul style="list-style-type: none"> ・会員証バッジ制作委託料 230千円 ・会報制作業務委託料 200千円 <p>【使用料及び賃借料】 146千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> ・ファンクラブ交流会会場借上料 ※付帯設備料金を含む (渋谷QWS等) 3,630円×40人 = 145,200円 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>R7.1.23ファンクラブミーティング (SHIBUYA QWS) の様子</p>					
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
新たにリニューアルした「みよしのよしみファンクラブ」の会員を増やし、三次を応援したい人と三次で活躍する人や地域活動をつなげ、交流を通してツナガリ人口の拡大に努める。ファンクラブの交流会も企画を変えながら実施し、推し活を拡大しながら、まちづくりや地域の活性化につなげていく。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
縁つなぐ出会い創出支援事業			① 役務費	①通信運搬費	1	
			② 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,200	
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,201	
該当ページ	64 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	65 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,201	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,201					1,201
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけること及び定住促進を目的として, 多様な出会いの場を積極的に創出する事業を行う市内の結婚支援団体に対し, 補助金を交付する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【役務費】 1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通信運搬費 (補助金交付に係る通信運搬費) <p>【負担金, 補助及び交付金】 1,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●補助金 (補助費) ・補助金の名称 「縁つなぐ出会い創出支援事業補助金」 ・補助金の額 400千円×3団体 = 1,200千円 ・補助率 2分の1 (上限額 1団体 400千円/年) 参加者の定員規模により補助金上限額を設定し, 400千円の上限まで①~④を組み合わせて実施可能 <ul style="list-style-type: none"> ①定員50人以上: 400千円 ②定員30~49人: 300千円 ③定員10~29人: 200千円 ④定員9人以下: 100千円 ・R5年度交付実績 交付件数 3件, 補助額合計 204千円 ・R6年度交付状況 実施済み 3件 実施予定 1件 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけるための事業。結婚希望のある独身者が独身である理由に「出会いがない」ということが挙げられることから, 男女の交流する場を設けている結婚支援団体への活動支援は必要である。令和6年度は, 各団体の事業再開の機運も高まり, 新しい団体を加えて4団体から補助金申請があり, 今後も活動を支援していく。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域おこし協力隊事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	22,368	
			② 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	12,800	
			③			
			④			
実施計画No,		65	⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		35,168	
該当ページ		64 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		257	
		65 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		35,425	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	35,425					35,425
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊員が地域活動や農業などへ従事しながら、地域に溶け込み、最終的には定住・定着を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 22,568千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他報償費 <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊報償費 (233千円/月×12月×8人 = 22,368千円) ・講師謝礼 (隊員の募集, 受け入れに伴う専門家からの助言等への謝礼 200千円) <p>【普通旅費】 16千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●普通旅費 (担当者会議 3,780円×2人×2回 = 16千円) <p>【役務費】 6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通信運搬費 (募集に係るフェア荷物発送用 1,500円×2個×2 (往復) ×1回 = 6千円) <p>【負担金, 補助及び交付金】 12,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊活動補助金 (1,600千円/年×8人 = 12,800千円) <p>【使用料及び賃借料】 35千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会場使用料 35千円 (選考会に係る宿泊費 (7,000円×5人 = 35千円)) <p>・地域おこし協力隊8人の内訳 (新規3人, 継続5人) 農業研修生 3人 (新規1・継続2), スポーツ振興 2人 (新規1・継続1), ワイン文化振興 1人 (新規), 田幸地区における地域活性化 1人 (継続), 甲奴地区における地域活性化 1人 (継続) ・これまでの実績・・・任期が終了した27人中, 16人が三次市へ定着 (定着率60%)</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>令和6年4月 隊員への委嘱状交付の様子の様子</p>		 <p>隊員 (農業支援) の作業の様子の様子</p>			
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は, 地域の活性化や農業の担い手不足の解消, 本市への定住・定着につながる仕組みであり, 継続して実施する必要がある。令和7年度は, 農業研修を受けながら新規就農をめざす隊員とスポーツ振興を推進する隊員, 地域活性化等に携わる隊員など, 多様なミッションで活躍する協力隊を委嘱する予定である。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
移住体験・空き家見学現地ツアー事業			①	報 償 費	⑤その他報償費	49
			②	役 務 費	③広告料	200
			③	使用料及び賃借料	④自動車借上料	150
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			399	
該当ページ	64 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			40	
	65 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			439	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	439				400	39
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市の移住者の半数近くは県内からの移住となっている。県内の移住を検討している方を対象に、現地ツアーを開催する。実際に移住した方から三次での暮らしについて話を聞いていただき、農業体験なども行う。また、市内の空き家を見学してもらって、実際に三次に住むイメージを持っていただく。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 49千円 ●その他報償費 (見学先で体験談を話される先輩移住者への謝礼 6,111円×8人 = 49千円)</p> <p>【役務費】 210千円 ●通信運搬費 (10千円) ●広告料 (移住体験・空き家見学現地ツアー事業 200千円)</p> <p>【需用費】 30千円 ●消耗品費 (移住体験・空き家見学現地ツアー事業 参加者記念品 30千円)</p> <p>【使用料及び賃借料】 150千円 ●自動車借上料 (参加者移動用バス 75,000円×2回 = 150千円)</p>					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>空き家見学の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>先輩移住者との交流の様子</p> </div> </div>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和6年度に実施したところ、家族連れや単身で移住を希望されている参加者が9名参加されました。ツアー参加者の中で実際に移住される実績にもつながり、令和7年度も継続してニーズにあったツアー内容を企画し、さらに効果を図っていきます。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
みよし暮らしフェア (出張移住相談会) 事業			①	報 償 費	⑤その他報償費	67
			②	旅 費	②普通旅費	8
			③	需 用 費	①消耗品費,④印刷製本費	110
			④	委 託 料	①業務委託料 (物件費)	100
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		285	
該当ページ	64 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
	65 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			285	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定) 特定財源内訳	285				200	85
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	県北出身者が比較的多い広島市内にある商業施設等でのみよし暮らしフェア (出張移住相談会) を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 67千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他報償費 ・司会等謝礼 30,000円×1名+6,111円×6名 = 67千円 <p>【旅費】 8千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●普通旅費 ・広島会場 1,100円×7人 = 8千円 <p>【需用費】 110千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消耗品費 ・みよし暮らしフェア (出張移住相談会) 事業 記念品 30千円 ●印刷製本費 ・みよし暮らしフェア (出張移住相談会) 事業 チラシ印刷 80千円 <p>【委託料】 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務委託料 (物件費) ・チラシ配布業務委託料 100千円 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和6年度は10月27日に広島市内の商業施設で実施の予定であったが、国政選挙と重複したため職員が選挙事務に従事することになり延期となった。その後は会場となる商業施設と市との調整がつかず実施にいたらなかったが、広島市内には県北出身者の居住やつながりのある人が多く、ターゲットを絞って移住イベントと相談会を実施していく。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
移住支援金			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助金)	6,000
			②		
			③		
			④		
実施計画No,		⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			6,000
該当ページ	64 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
	65 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			6,000
歳入に関する項目	予算額 (千円) ⑧	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)	6,000		4,500		
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金	移住支援事業補助金			
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次市への移住及び定住の促進並びに、中小企業等における人材不足の解消のために、東京圏から本市へ移住して、起業・就業等を行う方に対して、広島県と連携して移住支援金を交付する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【負担金, 補助及び交付金】 6,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 補助金 (補助金) ・ 補助金の名称…… 「三次市移住支援金」 ・ 対象者 (①②いずれも満たす場合) <p>① 移住に関する要件</p> <p><移住元で></p> <p>三次市に住民票を移す直前10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤をしていたこと。</p> <p>住民票を三次市に移す直前に連続して1年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤をしていたこと。</p> <p><移住先で></p> <p>三次市に転入後、1年以内であること。申請日から5年以上、継続して本市に居住する意思を有していること。</p> <p>② 次のいずれかの要件を満たすこと</p> <p><就業に関する要件> <テレワークに関する要件> <起業に関する要件> ……各要件の詳細はチラシのとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住支援金の額 単身の場合60万円 2人以上の世帯の場合100万円 (18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は、1人につき100万円を加算) ※ 財源 (負担割合: 国1/2 県1/4, 市1/4) ※ 国費が県に入り、県から一括の補助金 				
別添資料	● R6年度実績件数				
有	200万円×1件 (夫婦と18歳未満の子ども1人, テレワーク)				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
国が進める東京圏から地方への人の流れを推進するため、県と連携し、東京圏から本市への移住・定住を促進する。市内企業にも継続して協力を依頼し、人材不足解消にも貢献できるよう、制度について広報みよしやHPでの周知に加え、ふるさと回帰支援センター等での周知を行う。					

東京圏から
移住をお考え
の皆さま！

東京からの移住は
お得じゃけえ〜

移住支援金 始めました!!

みよし

広島県三次市

移住
支援金

基礎額

单身 60 万円

世帯 100 万円

三次市で働こう！



▼加算額

18歳未満の
お子さま

100 万円

(1人につき)

三次市で
テレワークしよう！

三次の暮らしを楽しもう！

□支援対象者

東京23区在住者または通勤者が、三次市に移住し、就業、テレワーク、または起業した場合

※次のすべてに該当すること

- ・ 三次市に住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住または東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内に通勤していたこと。
- ・ 三次市に住民票を移す直前に連続して1年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内への通勤をしていたこと。

令和5年5月19日以降、三次市へ転入し、5年以上継続して居住する意思がある方

広島県の求人マッチングサイト「ひろしまワークス」に掲載された三次市内の求人先に就業した方、起業支援金※の交付決定を受けた方、またはテレワークにより住前の業務を継続される方（自己の意思により移住した場合）

▲起業の場合は、広島県から「※東京圏からの移住による地域課題解決型起業支援事業」に係る起業支援金が別に支給されます。

□相談・申請

三次市役所 地域共創部 まちづくり交通課 移住定住推進係

移住・就業後、1年以内に申請 ※移住支援金交付要綱の一部改正により、R5.6.23から適用

- ・ 移住支援金の申請を考えている方は、転入後、速やかにご連絡ください。（申請には、さまざまな要件がありますので、まずは下記までご連絡ください）
- ・ 空き家の紹介など、移住に関する様々なご相談に応じています。
- ・ 交付要件や手続き方法など、詳しくは三次市HPをご覧ください。

【人材不足にお悩みの経営者・人事担当者様へ】

移住支援金対象の法人として、広島県の求人マッチングサイト「ひろしまワークス」に登録しませんか。

★メリット

- ・ 東京圏からの移住者に対して移住支援金が支給される要件である「移住支援金対象法人」としてPRすることができます。
- ・ 「ひろしまワークス」に掲載された求人情報は、移住支援金対象求人として民間求人サイトにも無料で掲載され、より多くの求職者への求人PRがしやすくなります。

「ひろしまワークス」登録方法はここから！

<https://www.hiroshimaworks.jp/info/detail/2/2>



【お問い合わせ】

三次市地域共創部 まちづくり交通課 移住定住推進係

TEL：0824-62-6129

FAX：0824-62-6235

E-mail：machi@city.miyoshi.hiroshima.jp

移住支援金はここから！

「三次市HP」



<https://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/soshiki/8/16877.html>

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
生活交通確保対策事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	55,268	
			② 負担金, 補助及び交付金	①負担金 (補助費)	19,996	
			③ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	213,625	
			④ 扶助費	①扶助費	2,000	
			⑤			
実施計画No,		29				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		290,889		
該当ページ		66 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	137	
		67 / 頁				
* ⑥ (⑥+⑦) 事業合計額 →				291,026		
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	291,026		4,173			286,853
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	広島県市町等運行路線再編促進費補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	【委託料】 55,268千円 (債務負担行為 55,300千円 : 令和7年度~令和8年度) ・三次市民バス (君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町内を運行) の運行業務委託料					
	【負担金, 補助及び交付金 (負担金 (補助費))】 19,996千円 ・三次市地域公共交通会議負担金 8,764千円 三次市地域公共交通計画に係る事業の実施 次期三次市地域公共交通計画の策定 自家用有償旅客運送 (さくぎニコニコ便) の運行支援 ・三江線法定協議会負担金 325千円 ・三江線代替バス運行負担金 10,907千円					
	【負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費))】 213,625千円 ・生活交通維持対策補助金 213,625千円 路線バス (備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通) の運行維持に係る補助金 207,754千円 ふれあいタクシーみらさか (三次広域商工会) の運行維持に係る補助金 5,871千円					
別添資料	【扶助費】 2,000千円 ・三次市相乗りタクシー事業助成費 2,000千円 (1件あたりの平均助成額40千円×申請見込件数50件)					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、市民の日常生活に欠くことのできない公共交通の維持を目的としたもので、継続して実施する必要がある。引き続き、利用しやすい公共交通とするために、バス路線の見直しなどを行い、財政負担額の抑制を含めた検討を行う。また、令和7年度は次期三次市地域公共交通計画の策定を行い、引き続き持続可能な公共交通の維持を目指していく。						



▲三次市民バス



▲三次市地域公共交通計画

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
AI活用型オンデマンドバス事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	35,100
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		31	⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		35,100	
該当ページ	66 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	67 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			35,100	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	35,100	17,550	5,475			12,075
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	新しい地方経済・生活環境創生交付金				
	県支出金	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市の中心市街地では市街地循環バスが運行されているが、定時定路線目付運行ルートが一方方向の運行形態のため、待ち時間や乗車時間が長く、停留所までの距離が遠いという課題がある。AI活用型オンデマンドバスを導入することで、待ち時間や乗車時間の短縮、停留所までの移動負担の軽減を図ることにより、地域住民の移動に対する利便性の向上、また、観光客にも便利な移動手段を提供することで地域経済の活性化を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【委託料】 35,100千円</p> <p>公共交通利用促進業務委託料 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両購入費 13,200千円 ・車載タブレット端末購入費 330千円 ・通信契約手数料 8千円 ・乗降拠点設置費 2,200千円 ・運行管理システム構築費 7,612千円 ・導入支援費 1,397千円 ・プロジェクトマネジメント費 1,584千円 ・電話予約初期設定 550千円 ・パンフレット制作費 609千円 ・LINE連携費 2,200千円 ・車両運行委託費 3,279千円 ・車載タブレット端末通信費 60千円 ・システム利用料 704千円 ・運行支援費 470千円 ・SMS送信費 39千円 ・電話オペレーション委託費 400千円 ・LINE連携運用保守費 458千円 		 <p>▲ 導入車両イメージ</p>			
別添資料 無 (一覧表/図面等)	<p>スケジュール (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月~令和8年3月 試験運行 		 <p>▲ サービスイメージ</p>			
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
高齢者運転免許自主返納支援事業			① 需用費	④印刷製本費	110
			② 役務費	①通信運搬費	96
			③ 扶助費	①扶助費	1,640
			④		
実施計画No,		⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,846
該当ページ	66 /頁	⑦その他の節など(上記以外)の合計額 *該当なし"0"を挿入 →			0
	67 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,846
歳入に関する項目	予算額 (千円) ⑧	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度(予定) 特定財源内訳	1,846				一般財源 (千円) 1,846
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【需用費】 110千円 高齢者運転免許自主返納支援事業タクシー利用助成券印刷代</p> <p>【役務費】 96千円 郵便代 (簡易書留)</p> <p>【扶助費】 1,640千円 (債務負担行為 1,200千円 : 令和7年度~令和9年度) 高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 運転免許を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付する。 ①市民バス等無料利用者証等 (2年度間有効) ②広島県交通系ICカード「MOBIRY DAYS」(1万円分・有効期限なし) ※R7.3月~パスピーより変更 ③市内タクシー利用助成券 (1万円分・3年度間有効) ※令和6年度申請見込み件数: 190件 (R5:179件, R4:223件)</p>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
本事業は高齢者が運転免許を自主的に返納するためのきっかけになっており、また、公共交通の利用に慣れていただくための事業である。三次警察署とも連携しており、継続した取組が必要である。					

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課		
事業区分		新規事業		政策2 安全で快適な生活環境	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
三次いきいき安全ドライブ運動			① 需用費	①消耗品費	50
			② 役務費	①通信運搬費	149
			③ 委託料	①業務委託料 (物件費)	650
			④		
実施計画No,		⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			849
該当ページ	66 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
	67 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			849
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)	849				一般財源 (千円)
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	「タテシナ会議 高齢者安全運転支援分科会」と連携し、令和6年度に高齢者などを対象にした実証実験を実施した。収集したデータに基づき作成した交通安全マップを活用し、安全運転意識の向上や、ドラミverを使った個人の運転改善を促進し、交通事故死傷者ゼロをめざす取組を継続して行うもの。※令和6年9月補正予算計上				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【需用費】 50千円 (消耗品費) 参加者の記念品</p> <p>【役務費】 149千円 (通信運搬費) 参加者への郵便代・タグ回収郵送料</p> <p>【委託料】 650千円 ○運營業務委託料 500千円 ((仮称) 交通安全フォーラムの開催) ○通信機器設置業務委託料 150千円 (車載タグ取付会の設営等)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>交通安全マップ贈呈式</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>車内に装着した車載タグ</p> </div> </div>				
別添資料	※タテシナ会議 高齢者安全運転支援分科会				
無 (一覧表/図面等)	企業の枠組みを超えて交通事故死傷者ゼロをめざす活動。高齢ドライバーの事故防止に取り組む本活動は、マツダ株式会社をはじめ、株式会社デンソー、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社アイシン、株式会社ミックウェア、公益財団法人豊田市都市交通研究所で構成。				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		継続事業		政策2 安全で快適な生活環境		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
JR芸備線・福塩線利用促進事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	2,000	
			② 負担金, 補助及び交付金	①負担金 (補助費)	825	
			③ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	11,000	
			④			
実施計画No,		30	⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		13,825	
該当ページ		66 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		53	
		67 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		13,878	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	13,878		1,000			12,878
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域間幹線交通であるJR芸備線・福塩線について、利用者が減少傾向にあることから、沿線自治体と連携し、その利用拡大と利用促進に向けた事業を行い、路線の維持と沿線地域の活性化を図る。 また、鉄道の利用促進を中心に、鉄道以外の公共交通等を含めた総合的な利用促進事業を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	【委託料】 2,000千円 ・JR芸備線・福塩線の利用促進に係る業務委託料 【負担金, 補助及び交付金 (負担金)】 825千円 ・芸備線対策協議会負担金 606千円 芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ・福塩線対策協議会負担金 219千円 福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金					
	【負担金, 補助及び交付金 (補助金)】 11,000千円 ・地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 バス&レールどっちも割きっぷの販売に係る補助金 (1件当たりの平均補助額500円×販売想定件数22,000件) <販売実績> R 3年度 3,665枚 R 4年度 7,199枚 R 5年度 15,563枚 R 6年度 22,000枚 (見込)					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>▲芸備線deカーブ応援! チラシ</p>  <p>▲バス&レールどっちも割きっぷチラシ</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
JR線の利用促進については、芸備線対策協議会や福塩線対策協議会を中心に、継続した利用促進策が必要である。市単独として実施している「バス&レールどっちも割きっぷ」の支援は、販売枚数も増加傾向にある。公共交通の利用人数の増加に寄与していることから、引き続き運行事業者と連携して公共交通の利用促進につなげていきたい。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域共創部 まちづくり交通課			
事業区分		新規事業		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
ものけミュージアム湯本豪一名誉館 長寄贈資料受入事業			①	報 償 費	講師謝礼	300
			②	旅 費	普通旅費	115
			③	需 用 費	消耗品費	305
			④	委 託 料	業務委託料(物件費)	6,057
			⑤	備品購入費	その他備品購入費	240
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			7,017	
該当ページ	68 /頁	⑦その他の節など(上記以外)の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	69 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			7,017	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	7,017				7,000	17
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	開館10周年(令和11年4月)に向け湯本豪一名誉館長から新たに資料の寄付について申し出をいただいた、絵巻や軸、錦絵など約500点の資料の受入に係る事業。今回寄贈いただく資料を中心に既存資料と合わせ、多くの方に喜んでいただけるよう開館10周年に向け取り組む。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 300千円 資料輸送に伴う作業立会に係る湯本先生への講師謝礼 (15,000円×20日間)</p> <p>【旅費】 115千円 受入れ資料の調書等作成に係る職員旅費</p> <p>【需用費】 305千円 受け入れ後の資料整理に係る消耗品</p> <p>【委託料】 6,057千円 受入資料のチェック、梱包、輸送等に係る経費(業務委託料)</p> <p>【備品購入費】 240千円 受入資料収蔵のためのラック</p>					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>開館5周年記念企画展「稲生物怪録」 入館者 1万人達成 R6.8.19</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>湯本豪一記念日本妖怪博物館 入館者 30万人達成 R6.4.16</p> </div> </div>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	9	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
高校生国際理解支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,800	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,800	
該当ページ	68,69 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	70,71 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,800	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,800	0	0	0	0	1,800
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	高校生国際理解支援事業補助金：市内高等学校での国際交流活動をととして、語学力の向上や、異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援する。					
事業の積算根 拠等	<p>負担金, 補助金及び交付金 1,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生国際理解支援事業補助金 1,800千円 1高等学校あたり 600千円上限 海外派遣事業は補助率1/2, 一人当たり100千円上限 その他国際交流事業は1事業あたり200千円上限 <p>〈積算の根拠〉市内3高等学校×600千円 = 1,800千円 (要綱の定め)</p>					
(詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	 <p>(日彰館高校・異文化・比較研究)</p>		 <p>(三次青陵高校 台湾研修旅行)</p>			
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本市の未来を担う人材を育成していくため、高校生を対象とした国際交流活動への支援を行う事業として令和3年から実施している。令和5年度からは実施校が増え、海外派遣事業を実施する学校もあるため、要綱に定めのある上限額を計上し、継続した支援が行えるようにしている。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	3	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		新規事業	政策1 健康で安心感のある暮らし			
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
被爆80周年平和記念事業 (国際平和交流基金造成事業)			① 積立金	①積立金	150,000	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	150,000		
該当ページ	52 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	53 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			150,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	150,000	0	0	0	75,000	75,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の子どもを対象とした国際交流や平和を担う人材を育成するため、持続可能な国際交流の仕組みとして基金を造成する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【国際平和交流基金造成事業】 150,000千円 国際平和交流基金 積立金 150,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用方法：積立金を運用し、その利子収入を得ることで、国際・平和交流事業に係る費用を賄う。 ※想定としては、令和7年度アメリカス市訪問費用(1/2)3,445千円(10人)の利子収入を得るために150,000千円を、例えば国債30年(利率2.3%以上)で運用。 ・基金の原資：ふるさと創生基金1/2(ふるさと納税メニュー「子育て・教育・医療」,「その他市長が必要と認める事業」) 一般財源1/2 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	9	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
被爆80周年平和記念事業 (国際交流団体活動支援事業) (アメリカス市)			① 旅 費	②普通旅費	3,344	
			② 負担金, 補助及び交付金	④負担金 (その他)	1,726	
			③ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	4,502	
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			9,572	
該当ページ	68,69 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			1,170	
	70,71 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			10,742	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	10,742	0	0	0	0	10,742
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	被爆80周年の節目において、原爆や戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて考えていく機会を提供し、次世代へ継承するための啓発事業等を実施する。また、故ジミー・カーター氏との交流で築いた縁が途絶えることのないよう、持続可能な国際交流の推進を支援する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【国際交流団体活動支援事業 (アメリカス市)】 10,742千円</p> <p>旅費 (普通旅費) 3,344千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカス市公式訪問 835,800×4名 = 3,343,200円 <p>役務費 (筆耕翻訳料) 1,120千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカス市公式訪問 通訳 560,000円×2名 = 1,120,000円 <p>役務費 (その他保険料) 50千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外出張保険料 12,500×4名 = 50,000 <p>負担金, 補助及び交付金 (負担金 (その他)) 1,726千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカス市派遣引率 862,762円×2名 = 1,725,524円 <p>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 4,502千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次国際交流協会補助金 (アメリカス市受入・派遣分) <p>受入分 770,000円</p> <p>派遣分 3,732,000円</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>新型コロナウイルスの影響でアメリカス市との交流が中断されていたが、昨年度より受入事業を再開、本年度は訪問事業を5年ぶりに実施した。故ジミー・カーター氏との交流で築いた縁が途絶えることのないよう、引き続き持続可能な国際交流の推進を支援する。</p>						



アメリカス市表敬訪問

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	5	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		新規事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
被爆80周年平和記念事業			① 報 償 費	⑤その他報償費	700	
			② 旅 費	②普通旅費	36	
			③ 需 用 費	①消耗品費	300	
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	900	
			⑤ 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	725	
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,661	
該当ページ	94,95 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		20		
	96,97 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,681		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	2,681	0	0	0	0	2,681
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	被爆80周年の節目において、原爆や戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて考えていく機会を提供し、次世代へ継承するための啓発事業等を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【被爆80周年平和記念事業】 1,956千円 (新規事業)</p> <p>報償費 (その他報償費) 700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和のつどい出演料 700,000円 <p>旅費 (普通旅費) 36千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒロシマ平和学習プログラム 3,780円×2人 (引率者) 2,780円×10人 (生徒) <p>需用費 (消耗品費) 300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内3高等学校との平和学習事業に係る消耗品 100,000円×3校 = 300,000円 <p>役務費 (通信運搬費) 20千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原爆の絵」展示に係る絵の運搬料 200,000円 <p>委託料 (業務委託料 (物件費)) 900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひと・かがやきフェスタでの被爆80周年平和記念事業に係る講師料 900,000円 <p>【平和祈念事業補助金】 725千円 (継続事業 (拡充))</p> <p>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 725千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和のつどい実行委員会補助金 500,000円 ・三良坂平和を願う会補助金 225,000円 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>平和のつどい</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
多くの市民参加による平和推進事業 (平和祈念事業) を展開することで、恒久平和の願いの浸透を図る。また被爆80周年の節目において、事業を拡大して行う。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	5	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
男女共同参画推進事業			①	委託料	①業務委託料(物件費)	2,043
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			2,043	
該当ページ	96,97 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし "0" を挿入 →			369	
	98,99 / 頁	⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →			2,412	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	2,412	0	0	0	0	2,412
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	男女共同参画社会の実現に向け、国際女性デーや男女共同参画週間などを中心として啓発事業を実施。 また、「三次市男女共同参画基本計画 (第5次)」策定に向け、市民・事業所を対象にアンケートを実施。 ・男女共同参画週間 6月23日~29日 ・国際女性デー 3月8日					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (業務委託料 (物件費)) 2,043千円 ・啓発業務委託料 543千円 男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の実施に係る委託料 (積算等の根拠) 男女共同参画推進講演会講師派遣事業 (保育所PTA・住民自治組織) 35,000円×5回×1.1 = 192,500円 国際女性デーや男女共同参画週間等における啓発事業 (講演会等) 350,000円 ・調査研究業務委託料 1,500千円 三次市男女共同参画基本計画 (第5次) 策定に係るアンケート調査業務					
						
	男女共同参画講演会		男女共同参画パネル展示			
別添資料	無					
	(一覧表/図面等)					

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)
 「三次市男女共同参画基本計画 (第4次) ~一人ひとりがしあわせな社会をめざして」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業を実施していく。啓発事業の実施にあたり、対象者に合わせたテーマや内容を工夫し、効果的な啓発となるよう検討し実施する。継続した取組が必要となることから、広報紙やホームページ等を活用し、男女平等意識の醸成のための広報啓発活動に引き続き取り組む。また、次期計画に係るアンケート集計については、新規導入するOCR等を利用して行う。

款	項	目	担当部局・課名			
7	1	2	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
女性活躍推進プラットフォーム事業 (アシスタ lab.)			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	9,597
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		9				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		9,597	
該当ページ		156 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		400	
		157 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		9,997	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	9,997	2,500	0	0	5,500	1,997
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域女性活躍推進交付金				
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	それぞれのライフステージに合わせた多様な働き方の選択やチャレンジを応援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」を開設し、女性の起業・就業支援を実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (業務委託料 (物件費)) 9,597千円 ・運營業務委託料 1,597千円 アシスタ lab.HPに係る業務委託料 1,365,100円 アシスタ lab.会員情報整理システム作成業務 176,000円 アシスタ lab.イベントチラシ作成業務 55,000円 ・女性起業・就業支援業務委託料 8,000千円 女性活躍推進プラットフォーム事業として、起業セミナー・就業セミナー、専門家による個別相談、交流会・イベント等の実施、常駐コーディネーターの配置等を委託					
	 <p>創業セミナー</p>  <p>交流会</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
「みよしアントレーヌ」認定者数も100人を超え、認識も広がっており、女性の起業・就業に寄与している。また、施設利用促進、コーディネートや交流会等の開催により、会員同士の繋がりが深まり、マルシェ等イベントの開催や事業の拡大つながったケースも生まれている。また、近年は会員だけでなく、企業等の外部との繋がりが生まれ、交流を中心に、起業後の支援も継続して行う。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	5	地域共創部 共生社会推進課		
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
スポーツのまちみよし応援事業 (女子野球チーム支援事業)			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	10,000
			②		
			③		
			④		
実施計画No,	62	⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	10,000	
該当ページ	204 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	205 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		10,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)	10,000	0	0	0	10,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	企業版ふるさと納税寄附金5,000・企業版ふるさと納税基金繰入金5,000			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	女子硬式野球クラブチーム「三次ブラックパールズ」の設立や活動を支援し、地域課題解決地域や企業とのつながり、雇用や女性活躍の推進を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 女子野球チーム支援事業 10,000千円</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム運営支援 (用具等購入, 遠征等の費用, 業務委託等) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>練習状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三次ブラックパールズ ロゴ・ネーム</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>佐々岡GM, 川口監督記者会見</p> </div>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
スポーツのまちみよし応援事業 (子どもの夢を応援事業等)			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	16,600	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		61	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			16,600	
該当ページ		204 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		205 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		16,600	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	16,600	0	0	0	16,600	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	スポーツ・文化みよし夢基金16,566・基金利子34				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	全ての人々がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が日常生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、令和6年度に設立した三次スポーツコミッションを中心に関係団体等と連携して各種スポーツの推進と地域活性化を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) スポーツのまちみよし応援事業補助金 16,600千円</p> <p>【事業内容】</p> <p>①地元チームを応援事業：600,000円 トップス広島, チームWISH応援事業</p> <p>②子どもの夢を応援事業：1,800,000円 県内トップチーム等学校訪問事業, 女子サッカースクールプロジェクト等</p> <p>③スポーツ大会・合宿誘致事業：1,900,000円 広島ドラゴンフライズ公式戦, JABA日本選手権中国予選等</p> <p>④女子スポーツ応援事業：1,000,000円 女子スポーツイベント, 女子野球観戦・交流事業</p> <p>⑤Sports in Life 事業：600,000円 チャレンジデー, インナー事業</p> <p>⑥その他：7,700,000円 三次スポーツコミッションの運営支援</p> <p>⑦侍ジャパン女子代表強化合宿誘致事業：3,000,000円 代表合宿開催地負担金</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>広島ドラゴンフライズ公式戦</p>  <p>トップチーム学校訪問</p>  <p>侍ジャパン代表合宿</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和6年度に設立した「三次スポーツコミッション」を中心に、関係団体と市が一体となり官民共創でスポーツを通じた地域活性化に取り組む。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	1	地域共創部 共生社会推進課			
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
スポーツのまちみよし応援事業 (スポーツ等合宿助成事業)			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	3,000	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,	61	⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		3,000		
該当ページ	206 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
	207 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		3,000		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	一般財源 (千円)
令和7年度 (予定)	3,000	0	0	0	3,000	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	スポーツ・文化みよし夢基金3,000				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の各スポーツ施設等を利用した合宿, 大会等における市内宿泊費用を助成することで, 交流人口の拡大や施設の稼働率の向上をめざす。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) スポーツのまちみよし応援事業補助金 (スポーツ等合宿助成事業) 3,000千円</p> <p>【事業内容】 スポーツ合宿宿泊助成事業: 3,000,000円 市内に宿泊し, 市内スポーツ施設等を利用した団体に対し, 宿泊者数×宿泊日数×1,000円助成。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第10回女子硬式野球西日本大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第75回広島県高等学校駅伝競走大会</p> </div> </div>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
スポーツ等合宿助成事業については, 毎年多くの利用や問い合わせがあり (令和5年度 申請件数91件 延べ利用者数3,182人), 本市を大会開催地, 合宿地として選んでいただいている一因と考えられる。						